

富岡地域づくり 協議会だより



第16号

平成30年9月18日

広報委員会

<http://www.town-tomioka.click/>

—地域づくり協議会の部会の活動報告として—

今号は、地域づくり協議会の部会の活動報告として、富岡地区に関する情報として2題をお伝えします。

1.ネオポリス買物支援隊



富岡地域づくり協議会地域福祉部会及び地域コミュニティ部会では、地域福祉協議会と地域包括支援センターの指導のもと富岡地区にある介護施設の送迎車を利用させていただき、ネオポリス買物支援隊を発足させ成果をあげてきています。また、中富でもこの活動がはじまりました。



※以下は、所沢社協だより『ちやお84号』に掲載されたものです。

「手に取って買える喜び・・・」のタイトルが付されています。より大勢の方に読んでいただければとの思いから、ここに再掲させていただきます。(一部省略してあります。)

富岡地区では、富岡福祉プロジェクト（富岡地域づくり協議会地域福祉部会、富岡地域ケア会議合同会議）で「長距離を歩くのが大変になって、買い物へ行くことができずに困っている高齢者が地域にいる」という声が上がったことで、買い物支援ボランティアの検討が始まりました。「どこの地域で始めるのか?」「車はどうする?」「運転手は?」等と意見交換を重ねてきたところ、地域の社会福祉法人が社会貢献として高齢者施設等のデイサービス送迎車等を提供することとなり、住民の方々が企画の段階から参加・協力して実現しました。

平成28年11月に第1回目の「ネオポリス買物支援隊」がスタート！現在は毎週水曜日の午前中の2便制となり、スーパーマーケットとネオポリスを往復しています。・・・「地域の人と一緒に買い物に出かけることで、話ができる楽しみが増えました。・・・」と代表の島田さんは語ってくださいました。

2.もったいない市

6月24日(日)10時より、富岡まちづくりセンター1階ロビーにてもったいない市が開催されました。地域環境部会を主催に地域コミュニティ部会の協賛のもと、今年度より当地にて開催されるようになりました。

「もったいない」の字義どおり物を大切にしようとする意識や精神の醸成を図ること、及び、ごみの減量・資源化も意図された大事な活動だともいえるものです。

この実施にあたり、たくさんの方に献品や購入等のご協力をいただき、ありがとうございました。

また、この事業のために多大なるご尽力いただきました皆様には大変お疲れ様でした。衷心よりお礼申し上げます。尚、10月14日(日)にもこの「もったいない市」を予定しています。

皆様には変わらぬご協力をお願いします。



<編集後記>

シャボン玉とんだ
シャボン玉消えた
風 風 吹くな

屋根までとんだ
とばずに消えた
シャボン玉とばそ

屋根までとんで
うまれてすぐに

こわれて消えた
こわれて消えた

からすなぜ啼くの
可愛い可愛いとからすは啼くの
山の古巣へいって見てごらん

からすは山に
可愛い可愛いと啼くんだよ
丸い目をしたいいい子だよ

可愛い七つの子があるからよ

このふたつとも、野口雨情が作詞したものです。ご案内のように「シャボン玉」と「七つの子」の歌詞です。

その野口雨情は、・700以上の童謡を残した。・童謡運動の中心的存在だった。・雨情の母校、北茨城市立精華小学校には雨情の手による『天与童心』の書が飾られている。等で知られています。

読む人、聞く人に様々な思いを起こさせる『唱歌』ではないかと思いここに取り上げました。いわれるように、こどもの純粋無垢なところを大切に、それに依拠した、また、素直なところで歌える歌を作られた作詞家とでもいえそうです。このほか「あの町この町」「雨降りお月さん」等々、我々に馴染みのある、有名な作品も数多く残されています。

これらに懐かしさを覚えたり、これらから様々な情景を思い浮かべたり、色々な感情が湧いたりひとそれぞれ感じ方があるのかなとも思います。

さて、皆さんは.....